

次世代に対応できる“設備に強いオペレーター”

詳細は、受験案内 (WEB版) をご確認ください。



jishuho_kentei_annai_2025.pdf

※自主保全士公式サイトから
ご確認ください



累計38万人の利用者実績 (2001年スタート)



資格認定 モノづくり現場の基盤強化に役立つ

自主保全士検定試験

第25回 (2025年度) 自主保全士検定試験は、下記の通りに実施いたします。

試験日: 2025年10月26日 日

受験申し込み期間: 2025年7月1日 火 ⇒ 8月15日 金 17時まで

※詳細のスケジュールは、公式サイト・受験案内にて公開中

	受験手数料	受験資格
1級	9,900円 (税込)	実務経験4年以上
2級	7,810円 (税込)	実務経験不要



企業の導入事例や各種役立つ情報掲載中!

自主保全士公式サイト

<https://www.jishuhozenshi.jp/>



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance



「自主保全活動」とは、オペレーター一人ひとりが自分の使っている設備を管理でき、設備の正しい姿を維持する活動です。そのためには、自分の設備は自分で守る、いわゆる『設備に強いオペレーター』を現場に浸透させる必要があります。

オペレーターは、オペレーションのみではなく、保全の知識を身につけることで、迅速な異常発見や簡単な修理・改善ができるようになり、重大な故障を未然に防ぐことができるようになります。この能力を身につける効率的な手段が、「自主保全士認定制度」です。

「自主保全士」取得のメリット



第三者による公平な評価

- 試験による評価で公平な結果を得られる
- 知識の正確な確認が可能



企業の競争率強化

- 故障・品質不良の早期発見、処置
- 洗剤欠陥の抽出・復元
- ロス発生削減・未然防止



オペレーターのレベルアップ

- 知識、技能の向上
- 資格取得によるモチベーションアップ
- オペレーターのレベルアップによる保全員に業務高度化



オペレーターと他部門の共通言語

- 製造業に関わる専門用語への理解が深まる
- オペレーターと他部門の共通言語化により相互理解が相違なく容易に

「自主保全士」が「現場」を変える

「設備」が変わる

自主保全士取得のメリットは、設備の専門家に任せず自分の設備は自分がしっかり守る意識が定着したこと。

その結果、設備がいかにも止まらないようにするか、故障の未然防止はどのようにすれば良いかという意識が芽生え、不具合の発生しないきれいな設備になりました。

(自動車系:T社)

「人」が変わる

自主保全士の有資格者が増加するにつれて、一人ひとりの専門用語への理解が深まり、技術的な専門用語を含めた会話ができるように。部門を跨いだ専門用語の共通化によりコミュニケーションアップ!

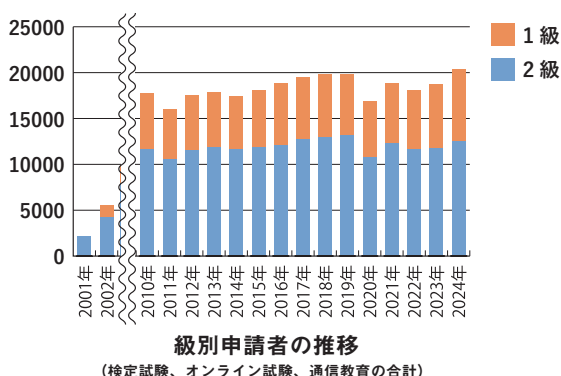
(非鉄金属系:R社)

「現場」が変わる

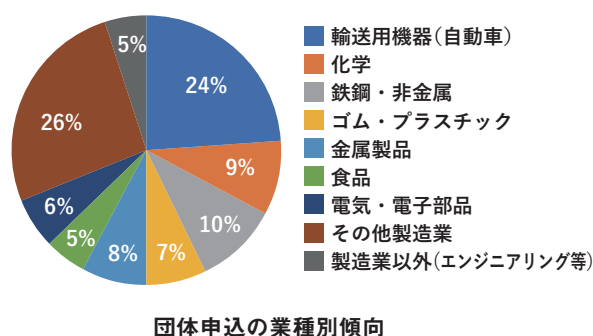
個人やサークルメンバーが同じ目標を持つことで切磋琢磨しながら達成感を味わうことができ、現場の意識が向上。合格という成功体験により自信の獲得だけでなく、生産性・品質向上にも寄与しています。

(自動車系:M社)

- 2001年から現在に至る**24年**の試験実績
- 累計利用者数**38万人**以上の利用実績



- 毎年**450企業・団体**での活用実績
- 累計認定者数**23万人**以上の製造現場への輩出実績



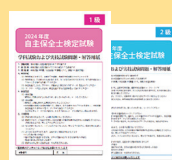
その他、実施報告などの情報も公式サイトに掲載中

<https://www.jishuhozenshi.jp/>



学習
教材

- ・受験準備講座
 - ・公式テキスト／問題集(学科・実技)
 - ・過去問題(公式サイトに掲載)
- *詳しくは、自主保全士公式サイトをご確認ください。



お問い合わせ

TEL: 03-6865-6081

E-mail: jishuhozenshi@jipm.or.jp